

(株) 北研精機 環境行動計画

平成20年10月29日

取組方針

(株)北研精機は、『日常の製造工程の中での、改善改良の積み重ねこそが当社発展の基になり』更にそれが技術革新に繋がることを信じています。この技術を駆使して、工作機械や産業機械の精密部品などを製造して、顧客に提供しています。

また、当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動の中での省エネルギーと省資源（節電・節水）
- ② 製造部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年10月29日

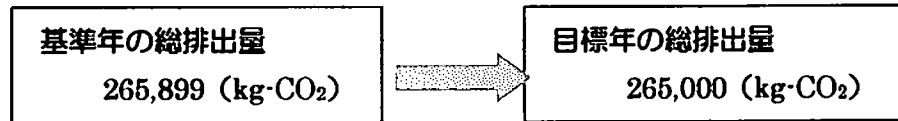
株式会社 北研精機

代表取締役社長 北市 正人

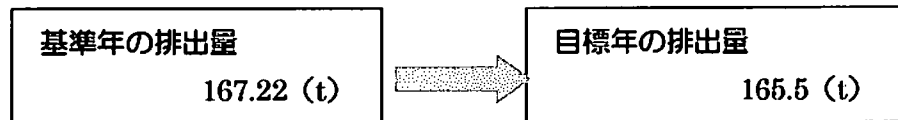
3 環境負荷の低減目標

21年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも19年です。)

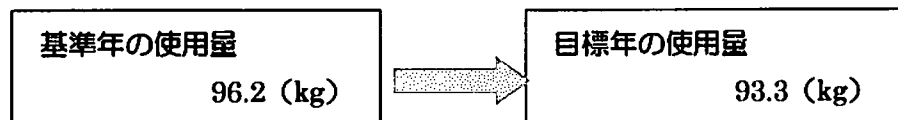
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を19年レベルとする (設備増強15~20%予定)



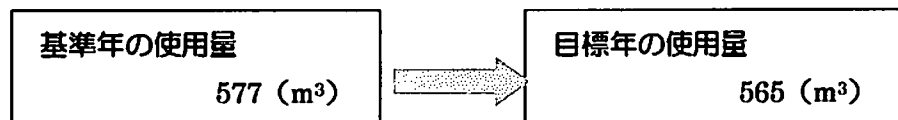
【目標2】 産業廃棄物の排出量を1%削減する



【目標3】 コピー用紙の使用量を3%削減する



【目標4】 水使用量を2%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ コンプレッサーのエア漏れを定期的に点検する
- ・ 設備増強(10台→13台 15~20%増)の増加分を現行並みのレベルにする為に最新鋭機での効率運転を行う
- ・ 作業効率の改善などにより残業時間を少なくし休日出勤を半減する
- ・ 工程改善や工具改善により切削の加工負荷低減で余裕運転を行う

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正(冷房時28度、暖房時20度)に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ 車の効率的な使用するため運搬効率、運搬回数などを改善する
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

（産業廃棄物）

- ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場などを整備する
- ・ 製造工程から発生する金属くずのリサイクルを継続する
- ・ 不良品の状況を掲示し再発防止を促す、又スクラップの発生状況を記録し、加工改善を実施する
- ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない
- ・ 木屑の元凶であるパレットなどのユーザからの廃棄品垂れ流しを防止する活動に取り組む

（一般廃棄物）

- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を更に進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 設備増強（20%）と人員増（10%）に対して現行並みのレベルに抑える活動
- ・ 融雪用の水道使用について有効な節水対策を実施する
- ・ 節水できる他の方策について積極的に活動する

【取組6】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具などは、整理・整頓を徹底しムダ取りを行う
- ・ 機械の稼働は夜間・休日に行わない方向で方策を検討する
- ・ 社員による改善提案制度を更に活用し、環境への取組についても提案を募集する

5 環境行動計画の実施体制

社長を責任者とする環境活動点検会議を設け、毎月ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。

目標に達しない項目に対しては具体的な案作りを全員で行います、又環境の先進企業への見学勉強会などを積極的に行います。